

船舶事故等調査報告書

平成27年3月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故等番号 | 2014横第152号 |
| 事故等種類 | 運航不能（電源喪失） |
| 発生日時 | 平成26年6月2日 09時30分ごろ |
| 発生場所 | 千葉県いすみ市太東埼東方沖 太東埼灯台から真方位114° 20.5km付近 （概位 北緯35° 14.00′ 東経140° 37.00′） |
| 事故等調査の経過 | 平成26年10月27日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 貨物船 ちはや 千早丸、6,835トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 136967、有限会社三和海運 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級海技士（航海） |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | なし |
| 事故等の経過 | <p>本船は、船長ほか8人が乗り組み、岩手県大船渡港を発し、千葉県千葉港に向かって太東埼東方沖を南西進中、平成26年6月2日09時30分ごろ、船橋においてVHFの電源電圧低下の警報が鳴り、続いて主機、可変ピッチプロペラ、航海計器等が電圧低下の警報を発して制御不能となった。</p> <p>本船は、主機を緊急停止し、運航管理者と連絡を取って修復に努めたが、本船乗組員による修復は難しいと判断し、えい航を要請するとともに、海上保安庁に通報した。</p> <p>本船は、20時40分ごろ、海上保安庁より連絡を受けたタグボートによるえい航が開始され、3日15時ごろ千葉県館山湾に投錨し、修理業者による修理が行われた。</p> <p>本船は、18時ごろ各機器の試運転を行って異常のないことを確認し、抜錨して京浜港へ向かった。</p> |
| 気象・海象 | 気象：天気 霧、風向 南南西、風力 2、視程 150m以下 海象：海上 平穏 |
| その他の事項 | <p>本船は、発電機で発生した交流電源の一部を直流24Vに変換して蓄電池の充電及び各機器の制御用電源として使用していた。</p> <p>制御用電源は、調査の結果、交流を直流に変換する変換装置（以下「本件変換装置」という。）の冷却ファンが故障し、本件変換装置が過熱して直流24V電源が供給できなくなっていたことが判明した。</p> |
| 分析 | |
| 乗組員等の関与 | なし |

| | |
|--|---|
| <p>船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p> | <p>あり なし</p> <p>本船は、太東埼東方沖を南西進中、本件変換装置の冷却ファンが故障し、本件変換装置が過熱して直流24V電源が供給できなくなったことから、主機及び可変ピッチプロペラ等が制御できなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> |
| <p>原因</p> | <p>本インシデントは、本船が、太東埼東方沖を南西進中、本件変換装置の冷却ファンが故障し、本件変換装置が過熱して直流24V電源が供給できなくなったため、主機及び可変ピッチプロペラ等が制御できなくなったことにより発生したものと考えられる。</p> |
| <p>参考</p> | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に冷却ファンの点検を行い、必要に応じて冷却ファンを交換すること。 ・冷却ファンの故障を知らせる警報装置を設置することが望ましい。 |